

「指導と評価の年間計画」(シラバス)

教科	情報	科目	情報の表現と管理	学年	2	単位数	2	教材名	【教科書】 なし 【副教材】 配布物(プリント)
----	----	----	----------	----	---	-----	---	-----	-----------------------------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	(1) 文字・画像・映像・音声などの特色や活用法を学ぶ。 (2) コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎的・基本的な知識と技術を身につける。
---------	--

2. 評価の方法

(1) 評価の観点

1	2	3	4
<ul style="list-style-type: none"> 発表時の工夫は見られたか。 発表後の振り返りを行う姿勢は見られたか。 興味を持って発表を聴けたか 他人の発表を評価できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ペイント系・ドロー系ソフトウェアを使い分けられた。 適切な長さの動画像を作成することができたか。 著作権に配慮できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 機器やソフトウェアの使い方は適当か。 作品は最後まで完成しているか。 リハーサルは十分行われたか。 見せ方の工夫はされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の意義は理解できたか。 発表の準備や技法について理解できたか。 発表に用いる機器の種類と特性は理解できたか。

(2) 評価の方法

- 学習成績の評価は、教科・科目の目標に照らして、次の資料に基づいて総合的に行う。
 - ① 考査
 - ② 研究物
 - ③ 制作物及び実技
 - ④ 平素の学習に対する関心・意欲・態度
- 1、2学期の評価は100点法を用い、学年末において5段階評価を用いる。
- 考査は、主に実技試験を行い、不受験者の扱いについては、内規に準ずる。

3. 年間学習指導計画及び評価方法等

週	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
1 ・ 2 ・ 3	4	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 本校のOSの基本操作に習熟する。 日本語等の入力、ファイル操作等に習熟する。 タッチタイピング 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 実技欠課
	5	検定対策	パソコン操作の基礎を学ぶとともに、習熟度別に授業を展開し、スキルに合わせた内容を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 日本語ワープロ検定、文書デザイン検定(2級目標) 毎日パソコン入力コンクール 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 定期考査(実技)
	6			
	7			
	9	検定対策2 コンテストへの応募	<ul style="list-style-type: none"> 検定対策その2(上位級へ挑戦する) プレゼンテーションの意味を理解する。 プレゼンテーションの3つの段階(伝達・理解促進、定着・説得、応用・実行)を理解する。 全体の流れ(内容の決定、発表準備、リハーサル、本番、フィードバック)を理解する。 プランニングシート、ストーリー記述シート、プログラムシートを作成し、プレゼンテーションプログラムを立案する。 配布資料、視聴覚資料の作成を行う。 リハーサルを行い、チェックして本番での修正点を明確にする。 話し方、態度、発問や応答、服装、会場確認を考え、プレゼンテーションのポイントを理解する。 話の組み立てとレイアウトを検討する。 プレゼンテーションソフトを起動し、テンプレートを選択する。 文字の入力、編集を行う。 写真・イラスト、グラフ、動画、音声、図形の挿入、特殊効果の設定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 青果物 定期考査(実技)
	10			
	11			
12				
1				
2				
3				